

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和2年度)

調査表

施設名	宮崎県スポーツ施設 (宮崎県体育館・宮崎県ライフル射撃競技場 宮崎県総合運動公園有料公園施設)
指定管理者	宮崎県体育・スポーツ振興グループ 代表構成員 公益財団法人宮崎県スポーツ施設協会 構成員 公益財団法人宮崎県スポーツ協会
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
県所管部課	教育庁スポーツ振興課

1 施設利用状況

指標	R2	R1	H30	増減理由等
施設利用者数(単位:人)	581,305	1,556,645	1,686,607	新型コロナウイルス感染拡大防止のため施設が閉鎖したこと、県独自の緊急事態宣言発令を受けての開園(館)時間短縮による減少に加えて、各種競技大会が自粛・中止となったため、施設利用者数が975,340人の減少となり、駐車台数も同様の理由で81,112台減少した。また、利用料金収入も上記理由の影響で、40,309,410円の減収となった。 申請件数が増加している理由は、近隣の体育施設が開園(館・場)していた期間中に、県スポーツ施設は開園(館・場)していたことが影響している。
申請件数(単位:件)	11,650	8,264	9,300	
有料駐車場駐車台数(単位:台)	96,418	177,530	183,078	
施設利用料金収入(単位:円)	73,672,837	113,982,247	131,139,766	
コメント	新型コロナウイルス感染症の影響による、施設閉鎖や営業時間短縮、各種大会やイベントの中止等で、利用者数及び利用料金収入額が大幅に減少している。コロナ禍において、多くの県民が安心安全に利用できるよう、引き続き消毒や換気、利用者への注意喚起等の感染症対策を徹底し、適正な管理運営を行いながら、利用者数や利用料金収入の増加に努めていく必要がある。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	R2	R1	H30	支出	R2	R1	H30
指定管理料	312,401	291,108	286,082	人件費	148,969	147,200	151,321
自主事業収入	2,091	6,226	6,180	維持管理費	108,227	117,797	115,709
利用料金収入	73,673	113,982	131,140	消耗品	20,088	17,609	16,074
雑収入	399	206	621	光熱水費	82,930	101,609	104,692
業務受託収入	33,660	0	0	修繕費	13,847	11,228	12,793
				租税公課費	15,201	14,282	12,815
				県納付金	0	641	9,737
				工事請負費	33,660	0	0
合計(①)	422,224	411,522	424,023	合計(②)	422,922	410,366	423,141
収支差額(①-②)	-698	1,156	882				
コメント	新型コロナウイルス感染症の影響による、利用者数の大幅な減少、自主事業(スポーツ教室、競技大会等)の中止等により、管理運営のために必要な収入が大幅に減少する中で、補正予算による指定管理料増額や、指定管理者が経費削減に努めたことにより、収支差額を抑えられている。施設利用状況や収入状況を踏まえて、計画的に業務を行っていく必要がある。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和2年度に新たに取り組んだ内容

事項	実施内容
清掃	日常清掃、武道館オイル塗布(年1回)、県体育館競技場クリーニング(月1回)、定期清掃(週1回)
保守・点検	消防設備等点検(年2回)、非常用発電機負荷試験(県体育館:年1回)、空調設備等保守点検、電気工作物点検、人工登攀壁点検(年1回)他
警備	夜間常駐警備、有料駐車場車両誘導整理、機械警備(硬式野球場、木の花ドーム、ライフル射撃競技場)
修繕	武道館-障がい者トイレ、消防設備等、アクセスVPNルータ、玄関防犯カメラ、2階障がい者トイレ自動ドア、トレットミル、トレーニングルーム受付用PCマザーボード他、相撲場網戸張替。サンマリン-消防設備、壁面保護マット、外野給水管、選手通路雨漏り、防犯カメラ新設。陸上-写真判定機スイッチボード。軟式野球場-Aフェンス。広場-ベンチ及び屋根。合宿所-電動スクリーン。ひむか-トイレ照明他、防球ネットウインチ、火災報知設備。水泳場-屋内プール庇、北側入口漏水。サッカー場-競技用タイマー及び時計。自転車-バンクひび割れ。屋内練習場-屋根及びネット。東倉庫-屋根。園内-新しい生活様式実践都市公園環境整備事業(手洗い場・トイレの非接触型改修)。県体育館-消防設備、非常用発電機冷却系統、本館及び別館棟屋根(台風被害)、倉庫シャッター、別館1高窓オペレーター。ライフル場-服装かたさげ。
備品等管理	備品点検(月1回)、貸出前機能点検、競技備品の設置及び撤収指導・支援
安全対策	日常目視点検、各月安全点検、災害マニュアル点検、食品安全講習会、応急手当講習、豚コレラ防疫マット設置、新型コロナウイルス感染防止対策(消毒液増設及び利用器具等の消毒等)
その他	グラウンド整備、芝刈り、床板の点検整備、植栽の剪定、駐車場管理、オーバーシード、その他の維持管理、専門業者と芝管理研修を実施しスキルの向上を図る。
企画	サービス提供体制整備 年末年始施設開放(12/29、30及び1/2、3)、休園日の開放、無料コインロッカー、レンタサイクルの提供、インターネットによる施設空状況及び駐車場混雑予想の表示、聴覚障がい者筆談電子バット設置、AED設置、氷の提供、競技用消耗品等の提供、案内リーフレットの提供

運 営 業 務	イベント等 ソフト面充実	各種スポーツ教室及び競技大会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 施設環境改善事業(3事業)
	施設設備等 ハード面充実	感染拡大防止用消毒液の増設、トレーニング器具トレッドミルの更新、トレーニング利用者カードの更新、県体育館の電動空気入更新、競技器具(卓球用サポート)更新等
	その他	地域への広報活動、職員技能研修、資格取得研修、交通安全期間中の街頭指導
管理運営体制		職員研修及び資格取得、ホームページによる情報公開、衛生管理者及び産業医を選任し衛生委員会を開催(月1回)、作業従事職員に対する安全管理研修(月1回)、外部講師を招いたコンプライアンス研修会を実施
コ メ ン ト	協定書等に基づき、概ね適正な施設の維持管理が行われている。また、利用者の利便性向上を図るためのサービス提供体制の整備や、職員研修によるより良い管理運営体制構築を行っている点が評価できる。感染症対策を始め、引き続き適切な管理運営を行うことで、より良いサービスの提供に努めていく必要がある。	

#### 4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	アンケート調査(9月及び3月に実施 延338件)	
	調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
	職員の接遇・対応の評価は非常に高いものの、施設・設備の故障に対する改善要望が多い。	継続的に接遇・対応の向上を目指しながら、指摘された改善・補修を速やかに実施した。
	利用者サービスの一環で設置している設備に不備が発生していた。	早急に購入・設置した。
	トレーニングルーム備品の更新要望が多い。	有酸素系器具を購入した。

#### 5 総合評価

評価コメント	新型コロナウイルス感染症の影響が多大である中で、施設の維持・管理運営は、協定書等に基づき概ね適正に行われている。また、利用料金収入が大幅に減少し、指定管理業務に必要な経費が不足する中で、必要な感染症対策を取りながらも経費削減に努め、適正な管理運営を行ったことが評価できる
今後の課題と対応	コロナ禍におけるスポーツ施設において、どのような管理運営のあり方が良いのかを県と指定管理者が連携しながら考え、管理運営体制を整えることで、時代に即した県民サービスの提供、質の向上に努めていく必要がある。また、老朽化が進む施設に対し、日常点検や修繕、整備等の対策を引き続き行い、利用者の安全の確保及び利便性の向上を図っていく必要がある。